

新編

中等日本語讀本

卷二

LC
3167.5
H3H77
1937-38
v. 2

新編 中等日本語讀本 卷二

目次

(1)

一	釋迦	………	(一)
二	ペンギン	………	杉村楚人冠(一〇)
三	農	………	(二〇)
四	繪の旅から	………	矢崎千代二(三三)
五	修業	………	芳賀矢一(三〇)
六	鳥飼藏人	………	五十嵐力(三三)

- 七 隨筆三章 : : : : : 五十嵐力 (三七)
- 八 文 鳥 : : : : : 夏目漱石 (四五)
- 九 野口博士の少年時代 : : : : : (五三)
- 一〇 學界の明星 : : : : : 橘 輝政 (七〇)
- 一一 希望の海 : : : : : 川路柳虹 (八二)
- 一二 父母に別れて : : : : : 鶴見祐輔 (八四)
- 一三 愛 馬 : : : : : 二葉亭四迷 (九四)
- 一四 兩雄の會見 : : : : : 櫻井忠溫 (九六)
- 一五 難 船 : : : : : 小笠原長生 (一〇三)
- 一六 難 船 : : : : : 相馬御風 (一二三)

- 一七 ロンドン市民の父 : : : : : 大山廣光 (二二八)
 - 一八 汝 の 母 : : : : : (二三四)
 - 一九 壺と提灯 : : : : : 柴田鳩翁 (二三三)
 - 二〇 安井息軒 : : : : : 森林太郎 (二四〇)
 - 二一 鐘 の 音 : : : : : 奥田正造 (二四八)
 - 二二 知行合一 : : : : : 南條文雄 (二五三)
 - 二三 藤樹先生 : : : : : 橘 南谿 (二五九)
- 課 外
- 一 木曾の子に送る : : : : : 島崎藤村 (二六七)

二	指	:	:	:	:	:	:	:	廣津和郎(二六)
三	小野の道風	:	:	:	:	:	:	:	坪内逍遙(二八)
四	此の一戦	:	:	:	:	:	:	:	水野廣徳(二九)
五	妙人團平	:	:	:	:	:	:	:	和田垣謙三(三〇)
六	手巾	:	:	:	:	:	:	:	芥川龍之介(三一)
七	智慧伊豆	:	:	:	:	:	:	:	大町桂月(三二)
八	勿來の關	:	:	:	:	:	:	:	岡本綺堂(三三)

新編 中等日本語讀本 卷二

一 釋迦

釋迦は今から凡そ二千五百年前、北インドのヒマラヤ山のふもとカピラバスト王國の太子として生まれた。

釋迦は生まれつき同情の念に厚く、何事も深く考へ込むたちであつた。或時、父王と共に城外に出て、農夫の働く様を見廻つたことがある。ぼろを着た農夫は玉のやうな汗をかいて田をすき起し、牛はつかれ果て、あへぎく働いてゐる。折から飛下りて來た鳥が鋤に傷つけられた蟲をついばんだ。木蔭からぢつと見て

宗任 その櫻花のちり／＼に、我は南へ。

義家 我は北へ。

義光 思ひ思ひに別れて行くか。

義家 さらば宗任。

義光 無事を祈るぞ。

宗任 はあ、お別れ申しまする。

(宗任は一禮して向かうへ歩み去る。義家と義光は手綱を繰りながらあとを見送る。櫻の花しきりに散りかゝる。) 一幕

(綺堂戯曲集)

新編 中等日本語讀本 卷二 終

千九百二十九年三月 編纂
千九百二十九年七月 發行
千九百三十七年七月 四訂五版

布哇ホノルル市

編纂兼
發行者

布哇本派本願寺學務部

大日本京都市壬生川通五條下

印刷所

同

朋

舎

"MADE IN JAPAN"

1979.211.304